

# 方言が人間に与える影響について



高校 1 年



# 目次

01

方言とは

02

方言の詳細

03

検証方法と  
仮説

04

検証

05

結果

06

考察





# 01 方言

---

共通語・標準語とは異なった形で、一地方だけで使われる語。



## 02 どんな方言があるのか？

日本語の方言を地域区画で分類する「方言区画論」によると、方言は**16種類**ある。(諸説あり)

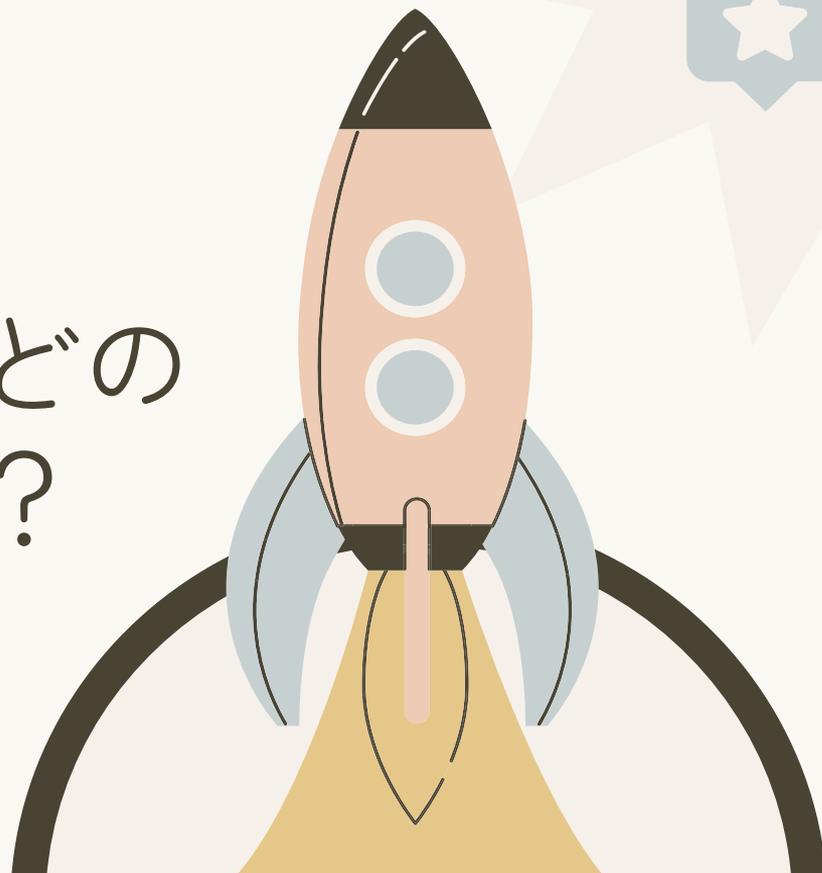


北海道弁	主に北海道 例) なして?(訳:どうして?)
青森弁	主に青森県 例) めじゃ(訳:おいしい)
京都弁	主に京都府 例) おいでやす(訳:いらっしゃい)
大阪弁	主に大阪府 例) どない(訳:どんな)
沖縄語	主に沖縄南部 例) はいさい(訳:こんにちは)

# リサーチクエスチョン

---

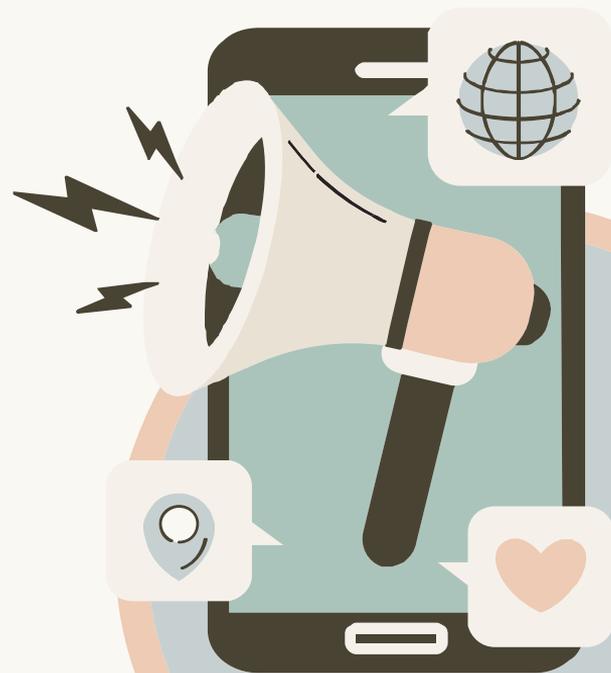
Q.話し方によって  
与えられる印象はどの  
ように異なるのか？



## 03 どのように検証するのか

①印象の違いをインタビューする。

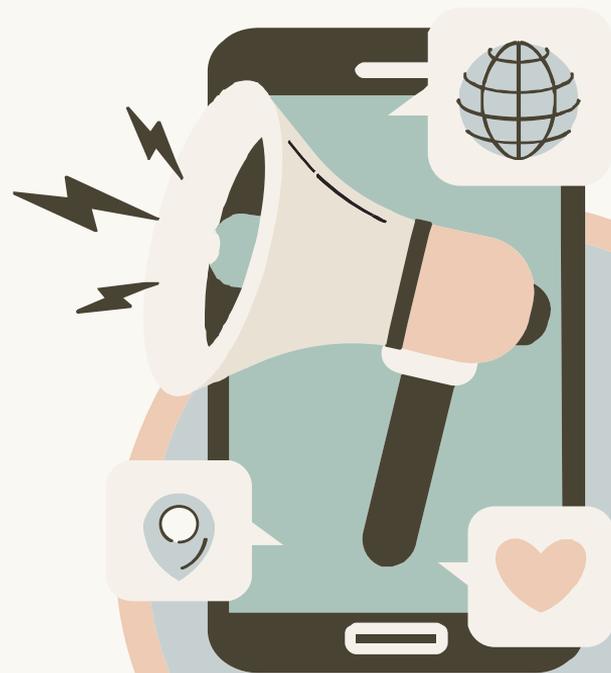
→標準語を話す友人と方言(博多弁)で話す友人にどのような印象の違いを受けたかアンケートを取る。



## 03 どのように検証するのか

② 家族で実際に検証してみる。

→ 方言が強い父に標準語で話してもらおう。それを家族に聞いてもらってどのような印象を受けたか聞く。



# 検証に対しての仮説 ①



人によると思うけれど、例えば方言に慣れている人や元々住んでいた人や身内に方言を使っている人がいる人は親近感を感じると思う。しかし方言に馴染みのない人や標準語を使っている人は少し威圧感を感じたりすると思う。



## 検証に対しての仮説 ②



とても違和感を感じると思う。本当の父が分からなくなってしまうかもしれない。そもそも父が博多弁を抑えて話すことができるかわからない。



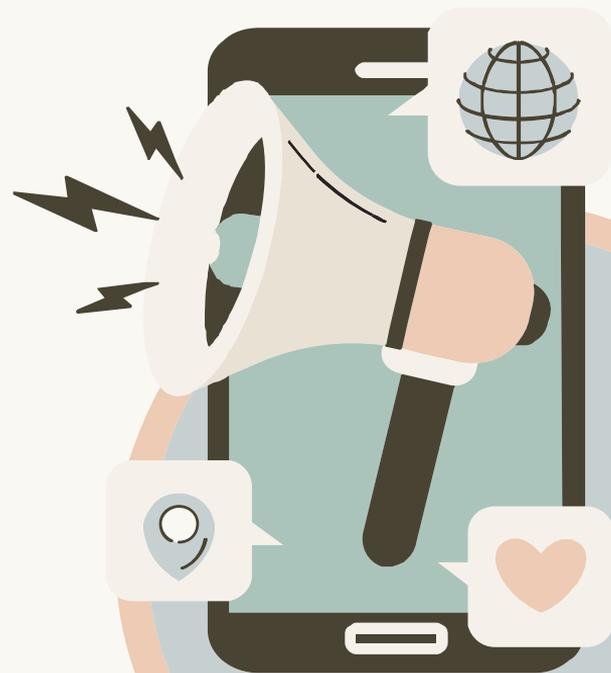


実際に検証してみる



# ①印象の違いをインタビューする。

→標準語を話す友人と方言(博多弁)で話す友人にどのような印象の違いを受けたかアンケートを取る。



# 検証結果 ①



九州の方言を喋る友人Aさん

「方言で喋る人がいると親近感が湧く」

方言を喋らない友人

「ギャップ」

「何を言っているかわからない時がある」

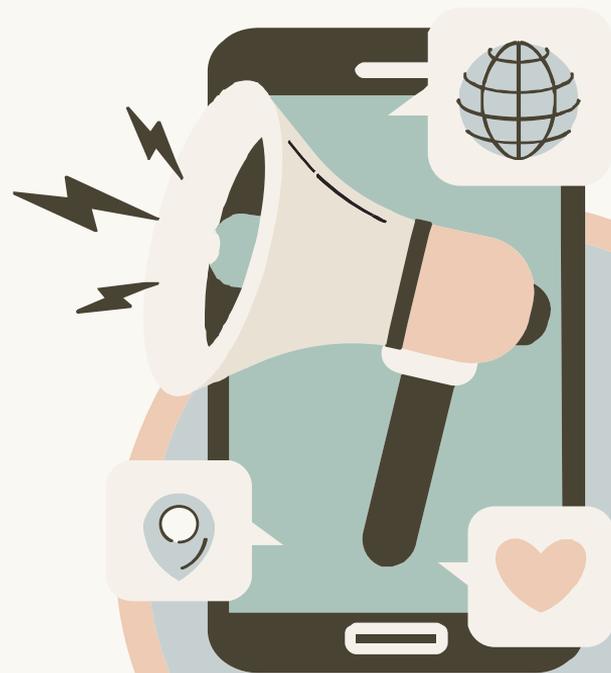
「ちょっと怖い」

「コミカル」



## ②家族で実際に検証 してみる。

→方言が強い父に標準語で話してもらおう。それを家族に聞いてもらってどのような印象を受けたか聞く。



# 会話デッキ



私：今日どこ行ってたの？

父：今日熊本行ったばい、(いところ)に会ったばってんたいがふとくなっとった。

私：(いところ)元気にしてた？

父：元気しとらすよ。

私：また近いうちに会えるといいね。

父：そがんたいねー。



# 会話デッキ

私：今日どこ行って来たの？

父：今日熊本行ったよ。

たばってんたいがふ。

私：(いっこ)元気に来たの？

父：元気しとらすよ。

私：また近いうちに会いたい。

父：そがんたいねー。

行っただい

(訳:行ったよ。)

「行った」にばいという語尾がついている

# 会話デッキ

私：今日どこ行ってたの？

父：今日熊本行った。

たばってんたいがふ。

私：(いっこ)元気に。

父：元気しとらすよ。

私：また近いうちに会。

父：そがんたいねー。

ばってん

(訳:けれど)

しかし、けれど  
のような意味を  
表す

# 会話デッキ

私：今日どこ行ってたの？

父：今日熊本行った

たばってんたいがふ

私：(いっこ)元気に

父：元気しとらすよ

私：また近いうちに会

父：そがんたいねー。

ふとい

(訳:大きい)

太いと言いたい

ときにも大きい

と言いたいとき

にも使う

# 会話デッキ

私：今日どこ行って来たの？

父：今日熊本行った。

たばってんたいがふ。

私：(いっこ)元気に。

父：元気しとらすよ。

私：また近いうちに会。

父：そがんたいねー。

そがんたい

(訳: そうなんだ

よね)

九州独特の言い

回し



標準語に直してしてみる



# 会話デッキ



私：今日どこ行ってたの？

父：今日熊本行ったよ、(いとこ)に会ったけど大きくなってた。

私：(いとこ)元気にしてた？

父：元気しているよ。

私：また近いうちに会えるといいね。

父：そうだね。



## 検証結果 ②



聞き手(私)：馴染みが全く無くて他人と話している感覚だった。

話し手(父)：台本を読んでいる用な感じで日本語を話しているようではなかった。うまく言葉を選んで考えて話さないと標準語を話せない。



# 考察



普段から方言を話している人にとって標準語を話すということは英語を話すときくらい難しいと言えると思う。  
うらしみを感じられるという  
もあるため方言が廃れてい  
てしまうのは悲しいなと思った。



# 今後の課題

課題と呼べるかわからないけれど、方言が廃れないようにするためにも出身地に方言がない人もたくさん方言を使ってほしいなと思った。



# 参考文献

<https://jp.quizcastle.com/dictionary/ejrk6y62>

[dq](#)

<https://excelll.info/fukuoka-batten>

